

# 宮 城 県 の 経 済 動 向

平成 2 1 年 第 4 四 半 期

( 1 0 月 ~ 1 2 月 期 )

## 本県の経済概況

平成 21 年第 4 四半期（10 月～12 月期）の宮城県経済の動向をみると、生産は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は、全体として低調である。公共投資は、引き続き増加となった。個人消費は、一部に政策効果がみられるが、弱い状態が続いている。雇用は、厳しい状況が続いている。企業倒産は、件数は増加、負債総額は減少となった。

このように、生産に持ち直しの動きがみられるものの、景気は依然として厳しい状況が続いている。

[ 前期（平成 21 年 7 月～9 月期）の概況 ]

生産は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は、全体として低調である。公共投資は、引き続き増加となった。個人消費は、一部に政策効果がみられるが、弱い状態が続いている。雇用は、厳しい状況が続いている。企業倒産は、件数、負債総額ともに減少となった。このように、景気は厳しい状況が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる。

### 生 産

鉱工業生産指数は、前年同期比が 5 期連続の低下となった。前期比は 3 期連続の上昇となった。

大口電力使用量は、前年同期比が 6 期ぶりに増加となった。前期比は 3 期連続の増加となった。

### 住宅投資

新設住宅着工戸数は、前年同期比が持家は 3 期連続の減少、貸家は 12 期連続の減少、分譲住宅は 4 期連続の減少となった。

全体では 10 期連続の減少となった。

### 公共投資

公共工事請負金額の発注主体別の前年同月比は、県は 2 期連続で減少となったが、国及び市町村は 4 期連続の増加となった。

全体では 4 期連続の増加となった。

### 大型小売店

大型小売店販売額（百貨店・スーパーの販売額の合計。既存店比較）は、前年同期比が 41 期連続の減少となった。衣料品は 16 期連続の減少、飲食料品は 4 期連続の減少となった。

### 自 動 車

軽自動車の新車届出台数を含む乗用車新車登録台数は、前年同期比が 2 期連続の増加となった。普通車は前年同期比が 2 期連続の増加、小型車は前年同期比が 5 期ぶりに増加、軽自動車は前年同期比が 4 期連続の減少となった。

### 物 価

仙台市消費者物価指数は、総合指数は、前年同期比が 4 期連続の低下となった。生鮮食品を除く総合指数は、前年同期比が 4 期連続の低下となった。食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は、7 期連続の低下となった。

### 雇 用

有効求人倍率（原指数）は、前年同期差が 9 期連続の低下となった。新規求人倍率（原指数）は、前年同期差が 10 期連続の低下となった。

実質賃金指数（製造業・30 人以上）は、前年同期比が 4 期連続の低下となった。

### 企業倒産

企業倒産は、件数は前年同期が 6 期ぶりに増加となった。負債総額は前年同月比が 2 期連続の減少となった。

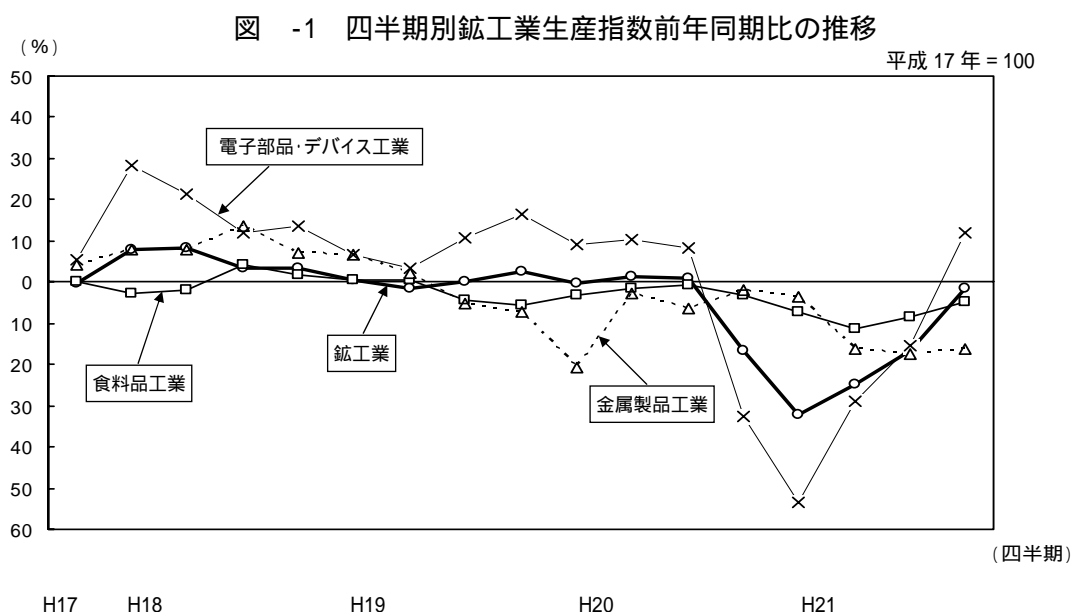
# 生産

## (1) 鉱工業生産指数

平成 21 年第 4 四半期(10 月～12 月期)の鉱工業生産指数(季節調整済)は 89.7(平成 17 年 = 100)で、前年同期比(原指数での比較)が 1.6%の低下となり、5 期連続の低下となった。

ウェイトの大きい業種を中心にみると、電子部品・デバイス工業は前年同期比が 11.8%の上昇となり、5 期ぶりに上昇となった。パルプ・紙・紙加工品工業は前年同期比が 0.9%の上昇となり、5 期ぶりに上昇となった。金属製品工業は前年同期比が 16.3%の低下となり、10 期連続の低下となった。電気機械工業は前年同期比が 9.9%の低下となり、3 期連続の低下となった。食料品工業は前年同期比が 4.8%の低下となり、10 期連続の低下となった。

前期比では 1.9%の上昇となり、3 期連続の上昇となった。



(資料:宮城県統計課)

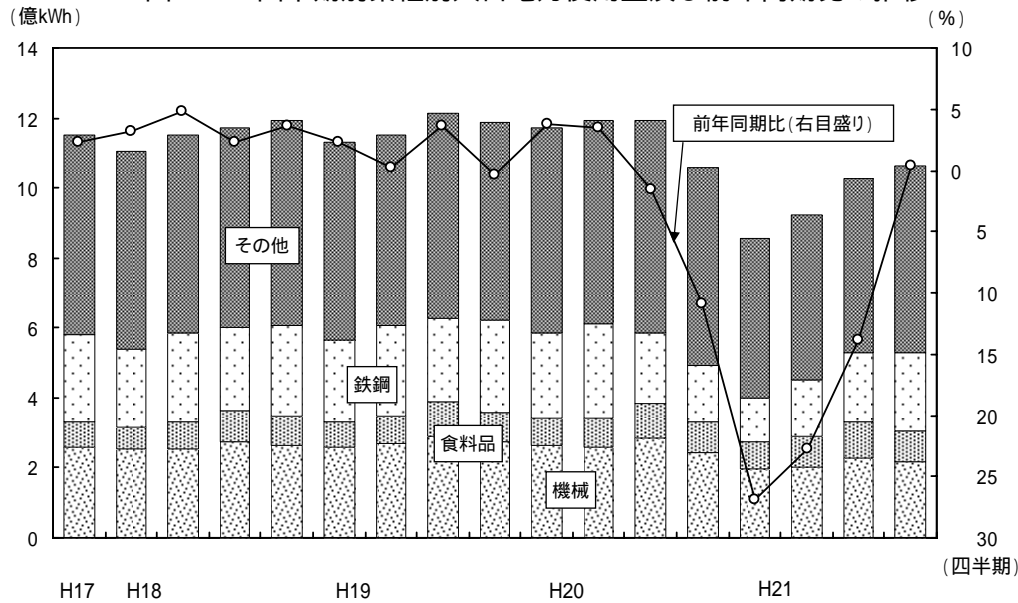
## (2) 大口電力使用量

平成21年第4四半期(10月～12月期)の大口電力(契約電力500KW以上)使用量は10億6,120万KWhで、前年同期比が0.3%の増加となり、6期ぶりに増加なった。

主要業種別にみると、食料品分野は前年同期比が0.4%の増加となり、平成16年第3四半期以降、22期連続の増加となった。機械分野は前年同期比が11.4%の減少となり、7期連続の減少となった。鉄鋼分野は前年同期比が39.7%の増加となり、6期ぶりに増加となった。

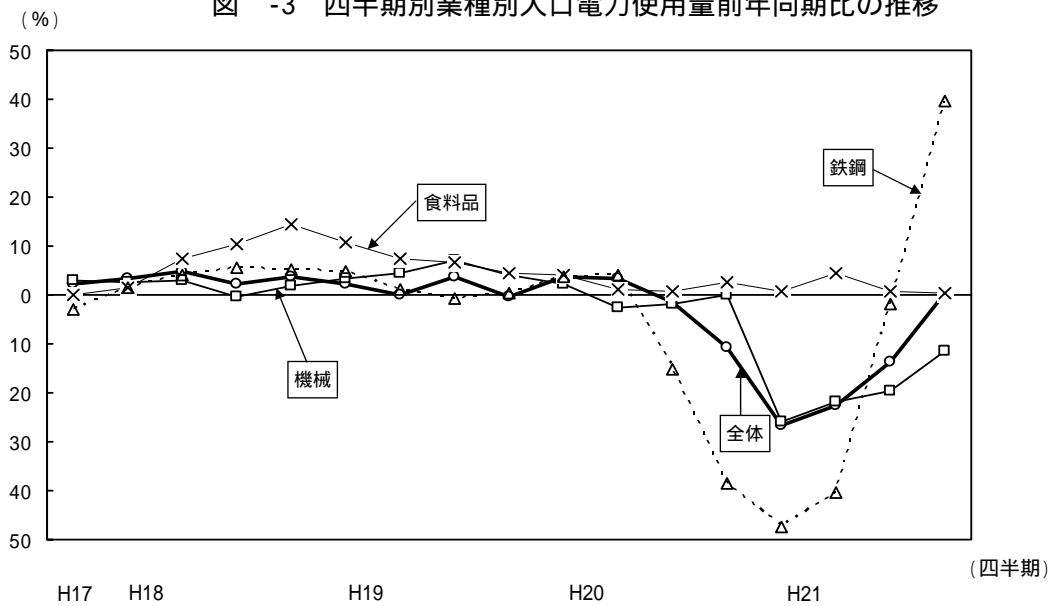
前期比では3.2%の増加となり、3期連続の増加となった。

図 -2 四半期別業種別大口電力使用量及び前年同期比の推移



(資料:(株)東北電力宮城支店「業務資料」)

図 -3 四半期別業種別大口電力使用量前年同期比の推移



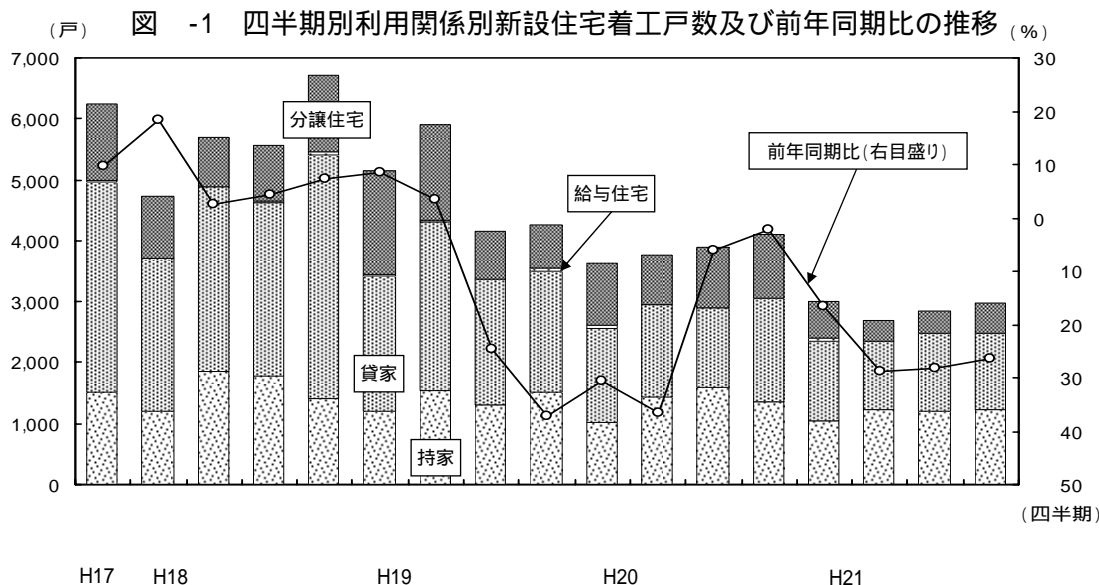
(資料:(株)東北電力宮城支店)

# 建設投資

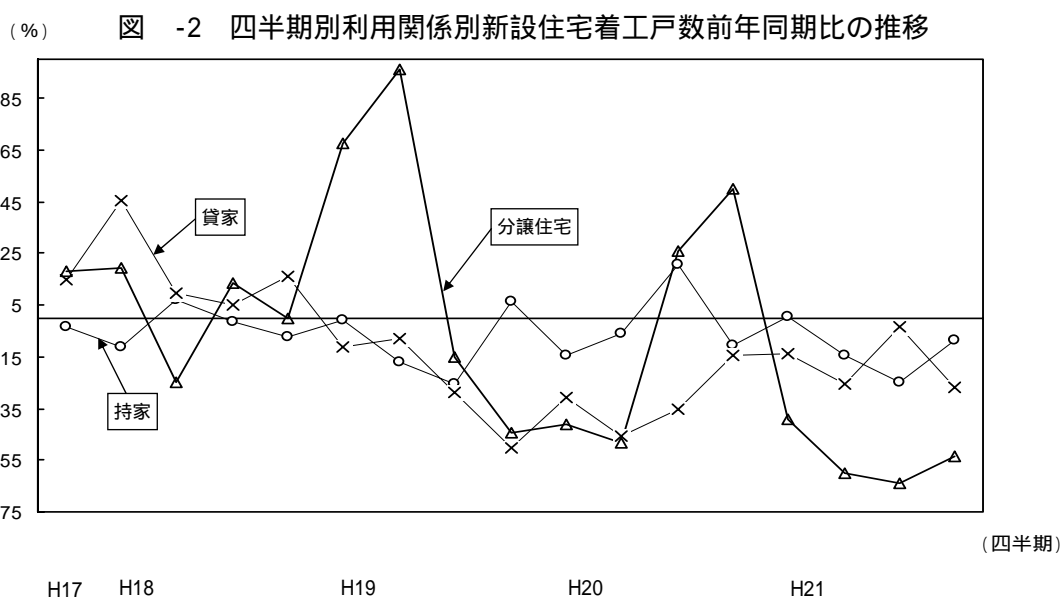
## (1) 新設住宅着工戸数

平成21年第4四半期(10月～12月期)の新設住宅着工戸数は3,019戸で、前年同期比が26.5%の減少となり、10期連続の減少となった。

利用関係別にみると、持家(建築主が自分で居住する目的で建築するもの)は前年同期比が8.8%の減少となり、3期連続の減少となった。貸家(建築主が賃貸する目的で建築するもの)は前年同期比が26.6%の減少となり、12期連続の減少となった。分譲住宅(建売または分譲の目的で建築するもの)は前年同期比が53.8%の減少となり、4期連続の減少となった。



(資料:国土交通省)

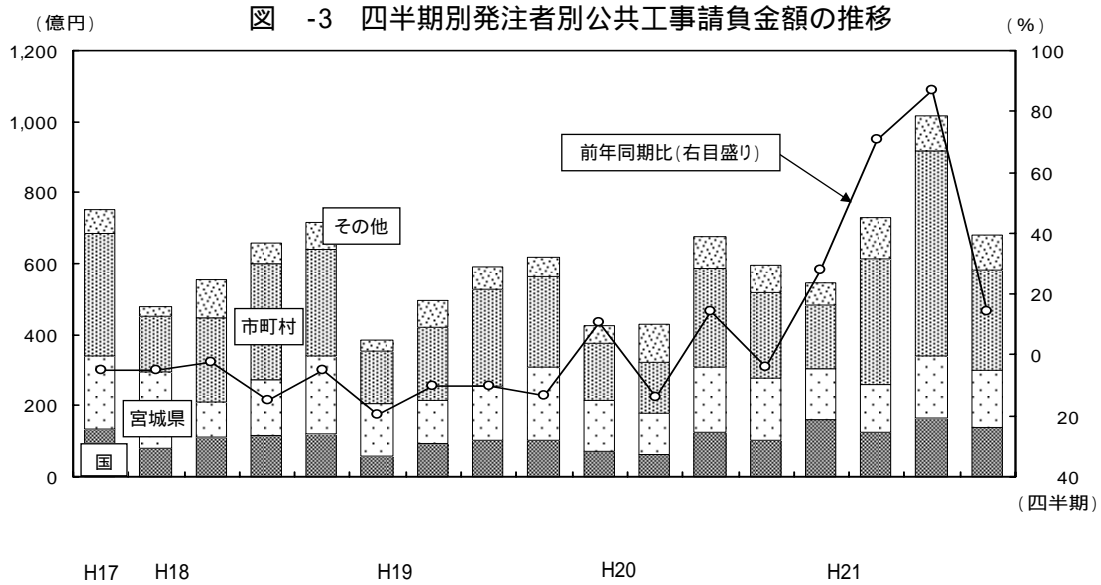


(資料:国土交通省)

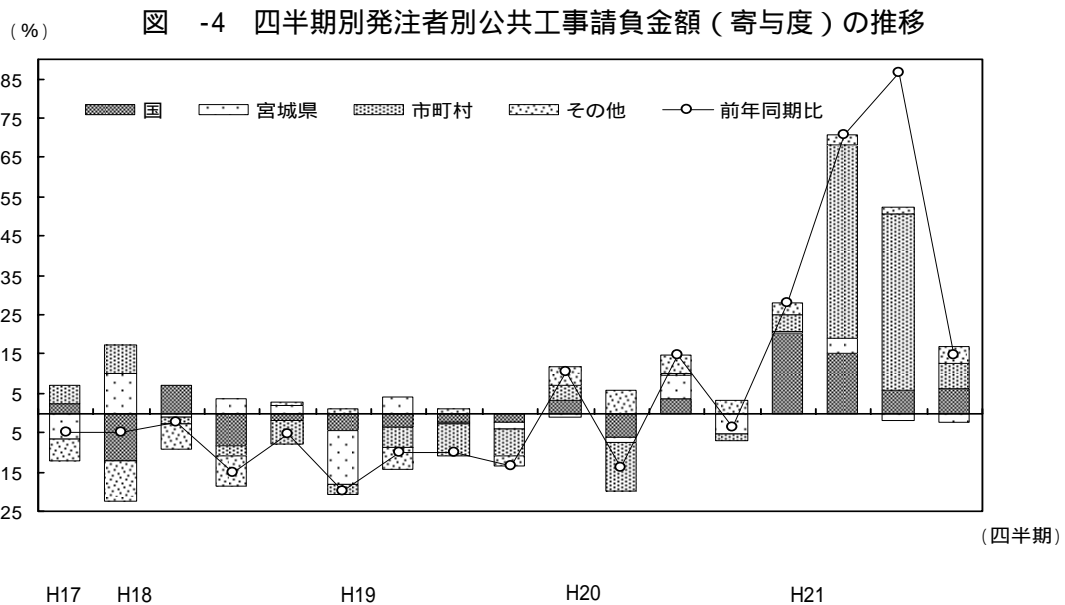
## (2) 公共工事請負金額

平成21年第4四半期(10月～12月期)の公共工事請負金額は681億6,400万円で、前年同期比が14.6%の増加となり、4期連続の増加となった。

発注者別にみると、国は前年同期比が35.0%の増加となり、4期連続の増加となった。宮城県は前年同期比が7.7%の減少となり、2期連続の減少となった。市町村は前年同期比が16.1%の増加となり、4期連続の増加となった。



(資料:東日本建設業保証(株))



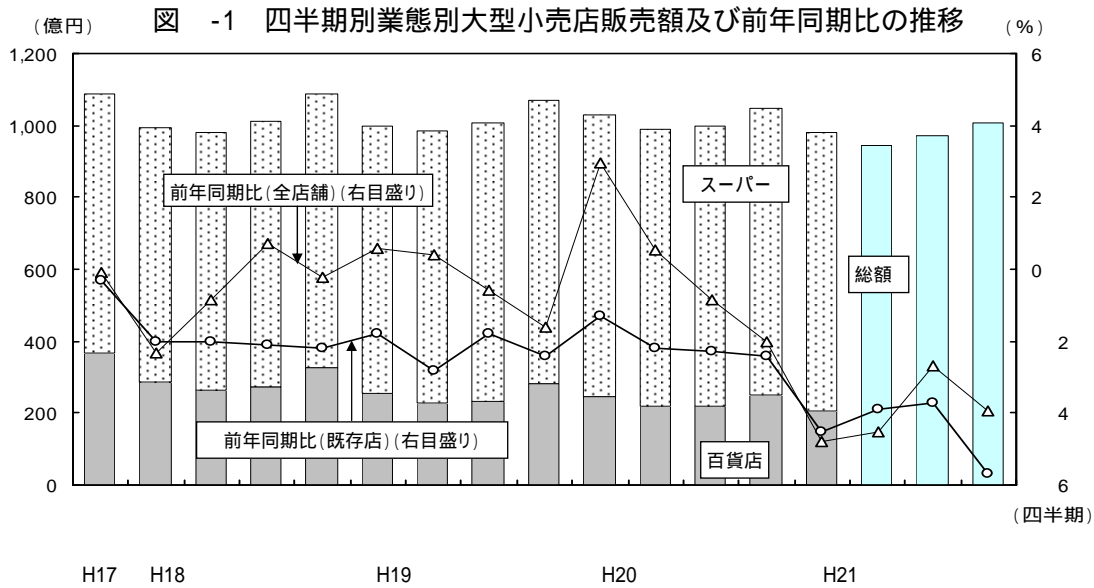
(資料:東日本建設業保証(株))

# 個人消費

## (1) 大型小売店販売額

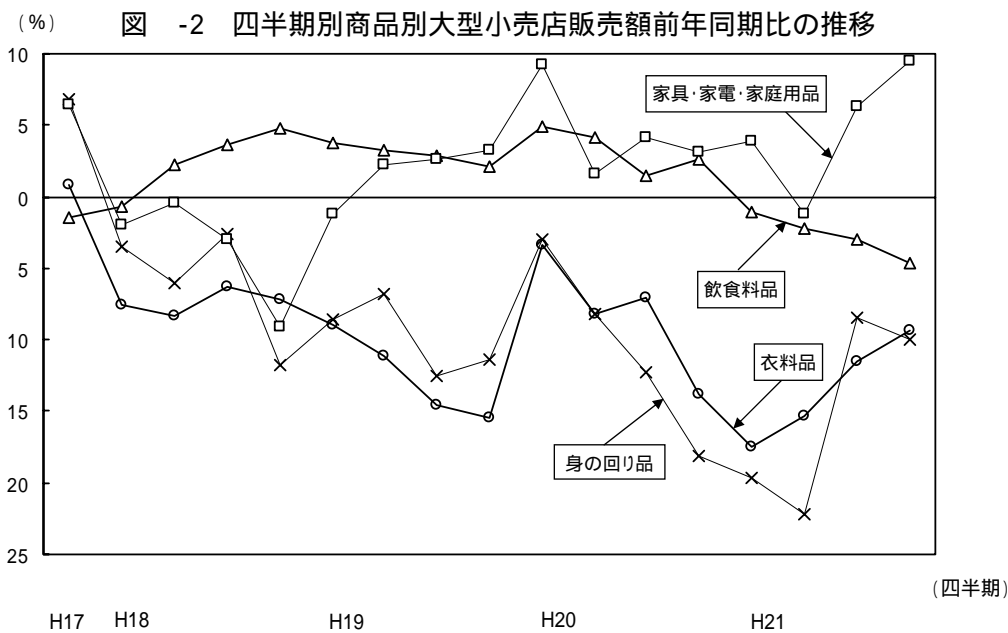
平成21年第4四半期(10月～12月期)の大型小売店販売額は1,007億6,600万円で、前年同期比(既存店比較)が5.7%の減少となり、平成11年第4四半期以降、41期連続の減少となった。

商品別にみると、衣料品は前年同期比が9.4%の減少となり、平成18年第1四半期以降、16期連続の減少となった。飲食料品は前年同期比が4.6%の減少となり、4期連続の減少となった。一方、家具・家電・家庭用品は前年同期比が9.4%の増加となり、2期連続の増加となった。



平成21年4月分から宮城県の業態別数値は秘匿となっております。

(資料:東北経済産業局)

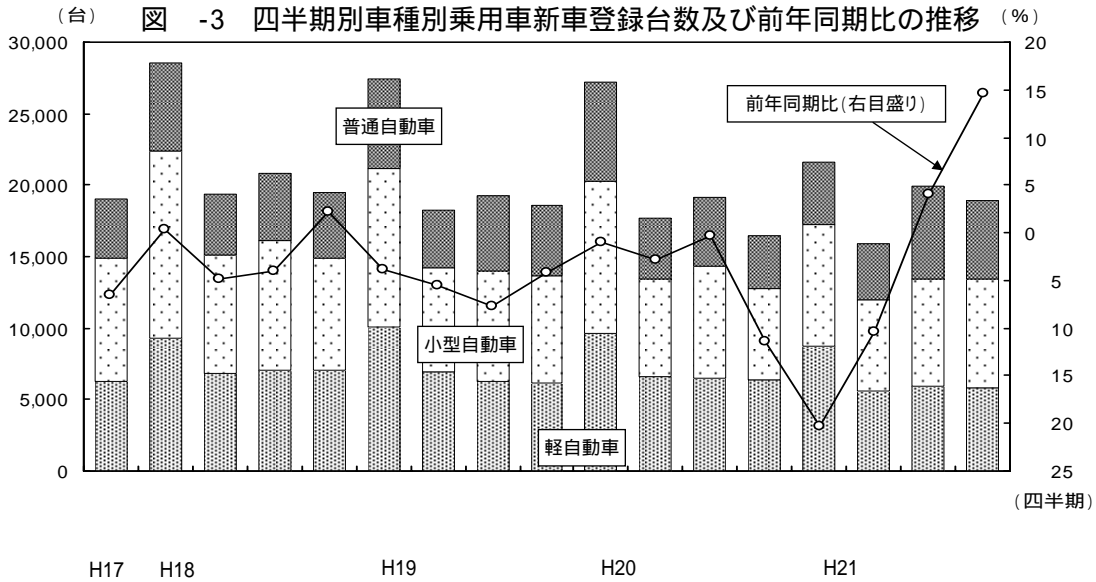


(資料:東北経済産業局)

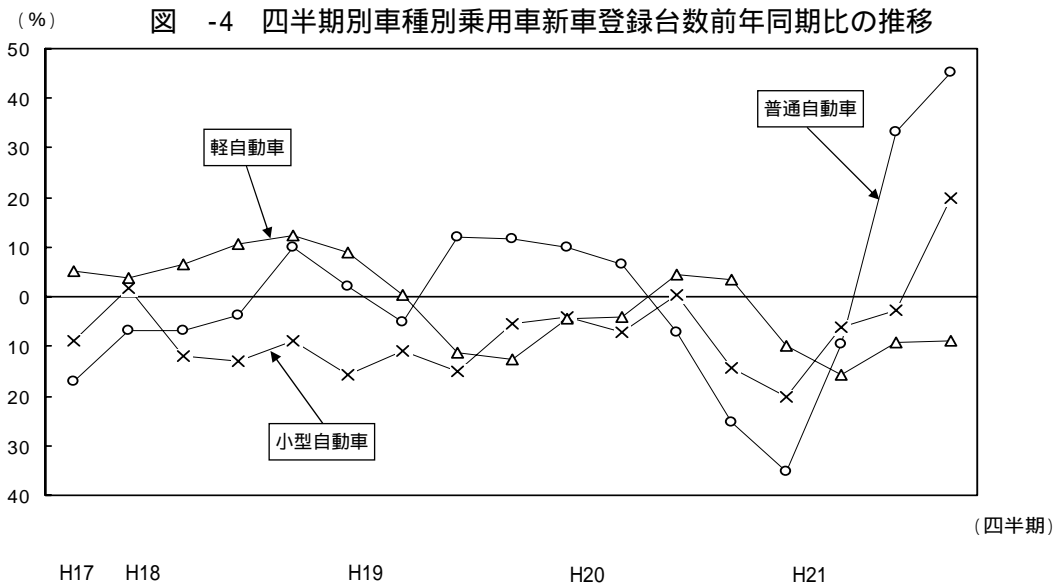
## (2) 乗用車新車登録台数

平成21年第4半期(10月～12月期)の軽自動車の新車届出台数を合わせた乗用車新車登録台数は1万8,923台で、前年同期比が14.6%の増加となり、2期連続の増加となった。

車種別にみると、普通車は前年同期比が45.2%の増加となり、2期連続の増加となった。小型車は前年同期比が20.0%の増加となり、5期ぶりに増加となった。軽自動車は前年同期比が8.9%の減少となり、4期連続の減少となった。



(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部、全国軽自動車協会連合会)



(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部、全国軽自動車協会連合会)

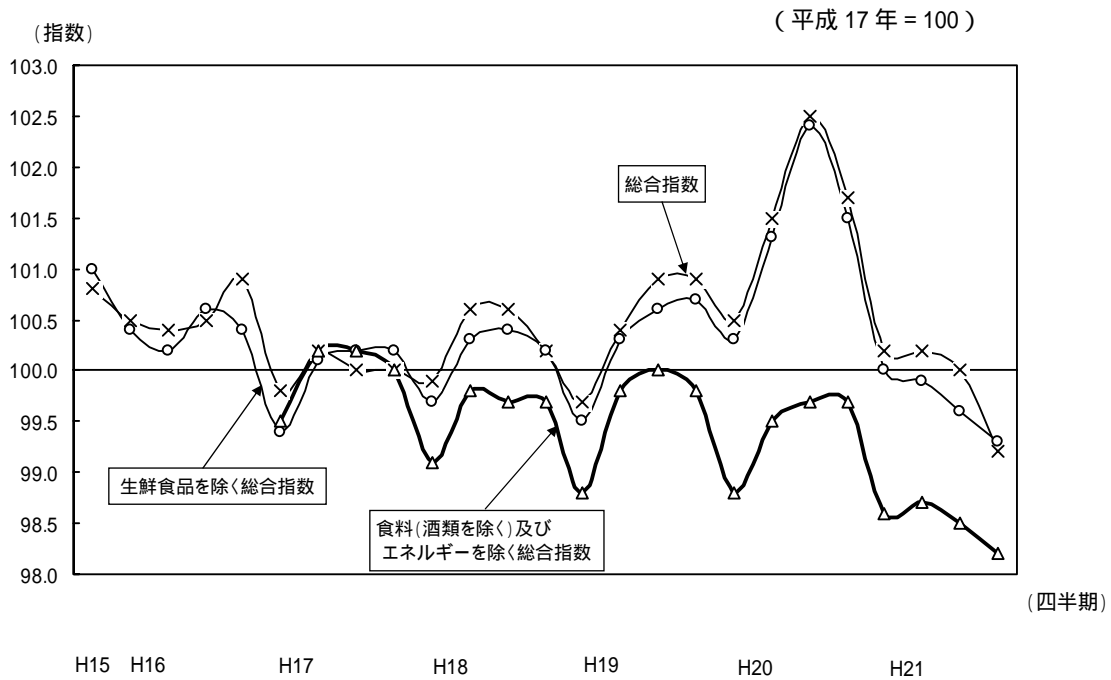


# 物 価

## (消費者物価指数)

平成 21 年第 4 四半期(10 月～12 月期)の平均仙台市消費者物価指数(平成 17 年 = 100)は、総合指数は 99.2 で、前年同期比が 2.5%の低下となり、4 期連続の低下となった。生鮮食品を除く総合指数は 99.3 で、前年同期比が 2.2%の低下となり、4 期連続の低下となった。食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は 98.2 で、前年同期比が 1.5%の低下となり、7 期連続の低下となった。

図 総合指数、生鮮食品を除く総合指数などの推移



(資料:宮城県統計課)

# 雇 用

## (1) 有効求人倍率及び新規求人倍率

平成 21 年第 4 四半期(10 月～12 月期)の有効求人人数(月平均値)は 2 万 4,045 人で、前年同期比が 17.3%の減少となった。有効求職者数(同)は 5 万 7,186 人で、前年同期比が 20.9%の増加となった。有効求人倍率(原指数)は 0.42 倍で前年同期差は、0.19 ポイント低下し、9 期連続の低下となった。

新規求人人数(月平均値)は 1 万 36 人で、前年同期比が 6.9%の減少となった。新規求職申込件数(同)は 1 万 2,257 件で、前年同期比が 5.1%の増加となった。新規求人倍率(原指数)は 0.82 倍で前年同期差は、0.11 ポイント低下し、10 期連続の低下となった。

図 -1 有効求人人数(四半期平均) 有効求職者数(同)及び

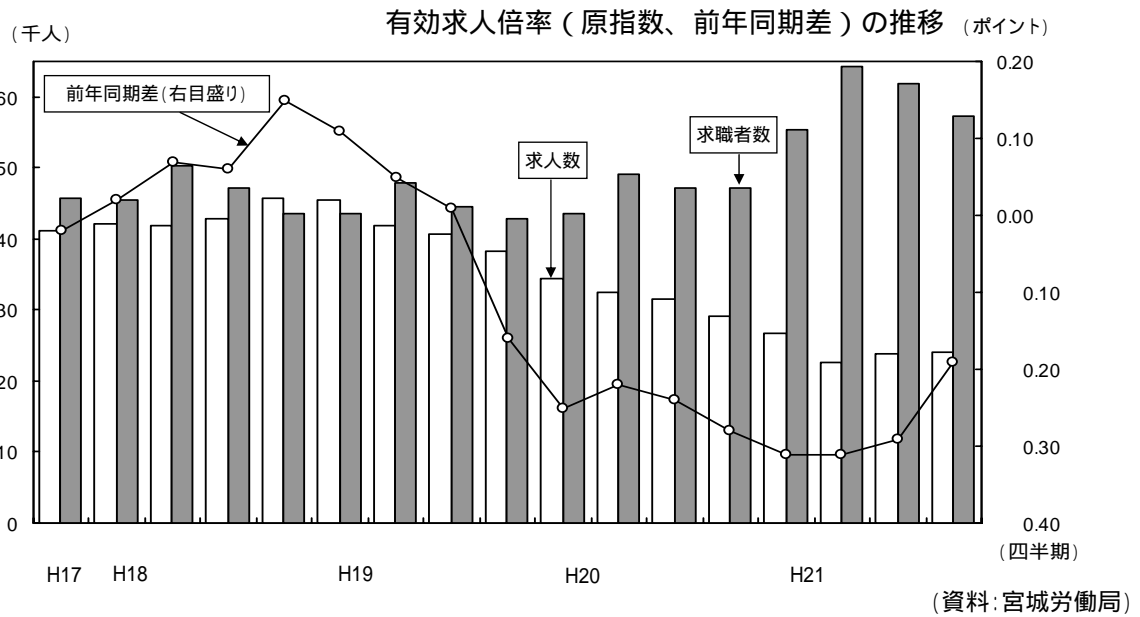
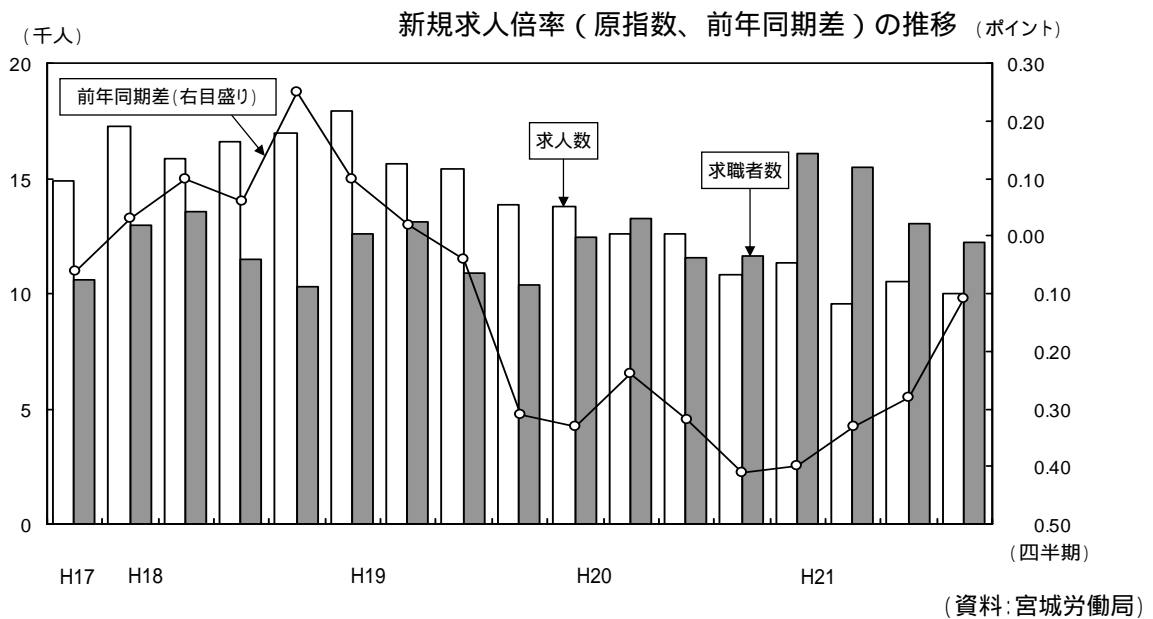


図 -2 新規求人人数(四半期平均) 新規求職者数(同)及び

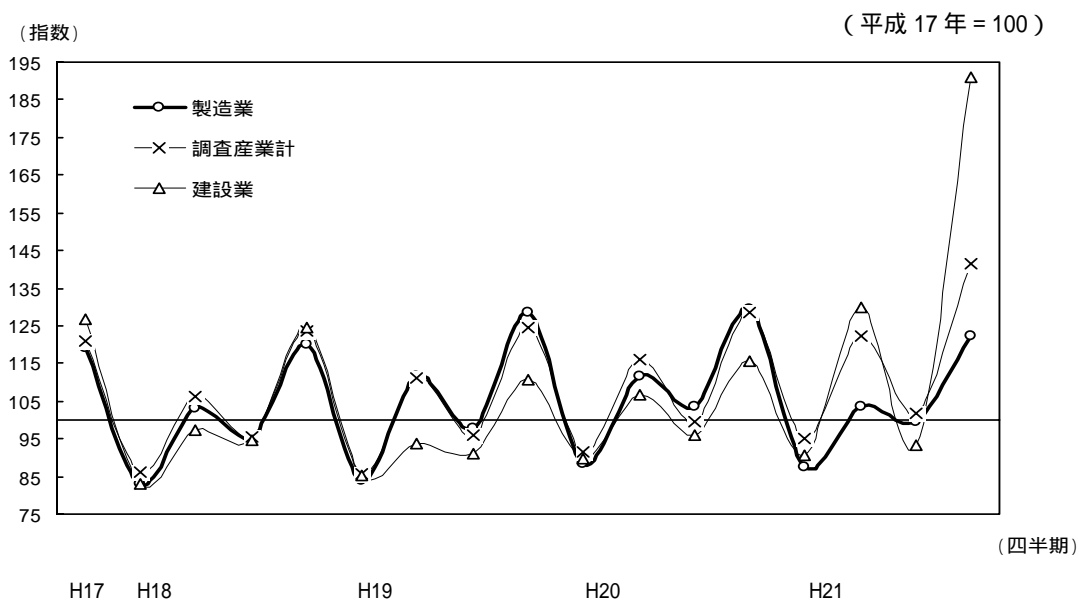


## (2) 賃金

平成 21 年第 4 四半期(10 月～12 月期)の実質賃金指数(平成 17 年 = 100)の調査産業計(事業所規模 30 人以上)は 141.5 で前年同期比が 10.1%の上昇となり, 11 期連続の上昇となった。

主要業種別にみると, 製造業(事業所規模 30 人以上)は 122.3 で前年同期比が 5.4%の低下となり, 4 期連続の低下となった。建設業(事業所規模 30 人以上)は 191.0 で前年同期比が 65.5%の上昇となり, 2 期ぶりに上昇となった。

図 -3 四半期別主要業種別実質賃金指数の推移(事業所規模 30 人以上)



(資料:宮城県統計課)

# 倒産

## (企業倒産)

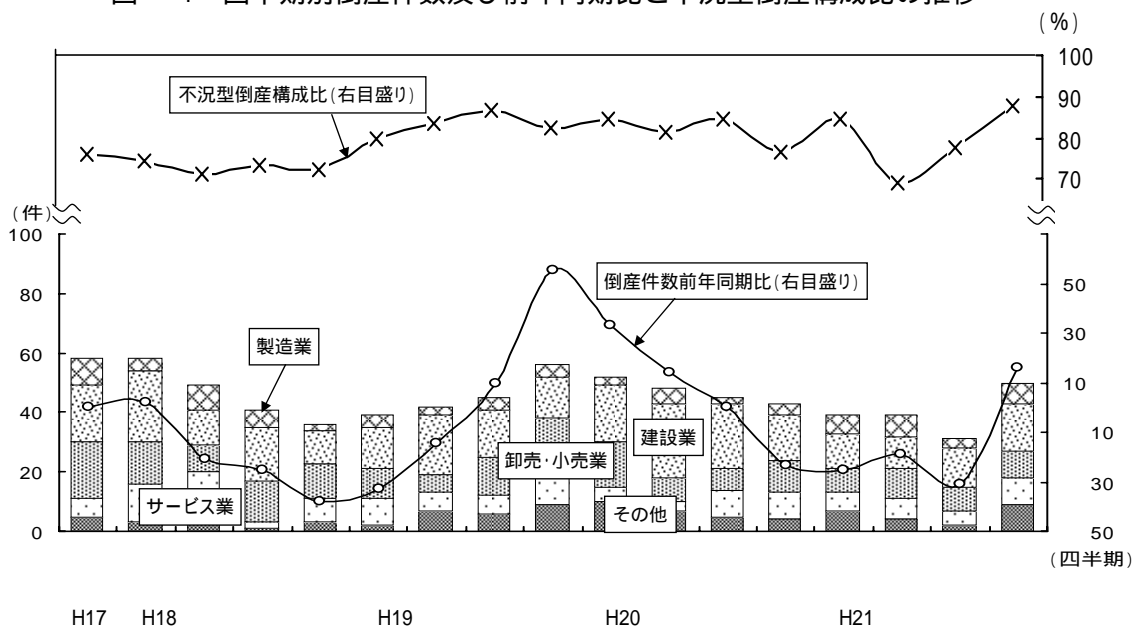
平成21年第4四半期(10月～12月期)の宮城県内の企業倒産(負債総額1千万以上)の件数は50件で、前年同期比が16.3%の増加となり、6期ぶりに増加となった。

負債総額は79億4,100万円で、前年同期比が46.1%の減少となり、2期連続の減少となった。

これらのうちの不況型倒産(販売不振、売掛金回収困難、赤字累積)の件数は44件で、6期ぶりに増加となった。件数の構成比は88.0%で、前年同期より11.3ポイント上昇となった。

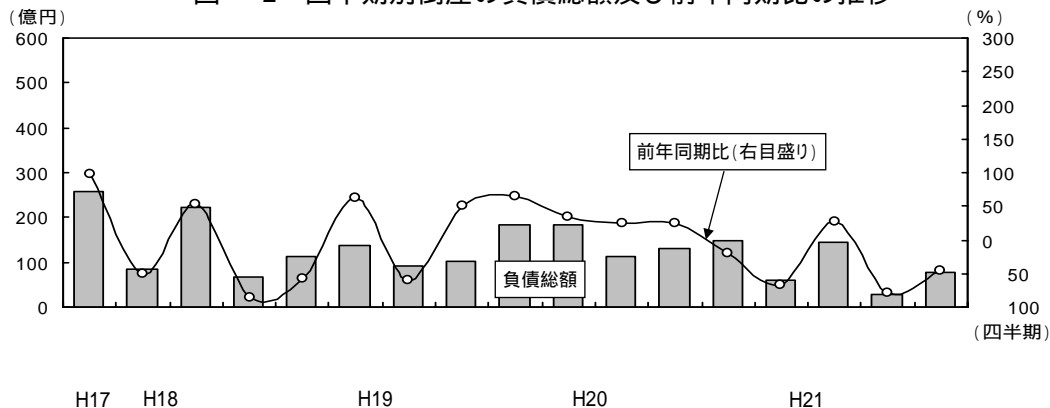
大型倒産(負債総額10億円以上)は1件発生し、前年同期より1件減少した。負債総額は11億8,300万円であった。

図 -1 四半期別倒産件数及び前年同期比と不況型倒産構成比の推移



(資料: (株)東京商工リサーチ)

図 -2 四半期別倒産の負債総額及び前年同期比の推移



(資料: (株)東京商工リサーチ)